

東京大学発ベンチャーの株式会社フィジ奥斯、4.5 億円のシリーズ B ファイナンスを実施

iPhone/iPad などのスマートフォンや PC などマルチプラットフォーム向けアプリケーションを開発し、独自のインタラクティブ・コンテンツのソーシャル UGC 展開を手がける株式会社フィジ奥斯（本社：東京都文京区、代表取締役社長兼 CEO 小島英一郎、以下「フィジ奥斯」）は、この度ベンチャーキャピタル 5 社より 4.5 億円のシリーズ B ファイナンスを実施しました。フィジ奥斯は、このファイナンスを機に、対応デバイスの更なる拡大、企業提携と共同事業の更なる強化、iPhone/iPad、アンドロイド OS の普及に伴うコンテンツニーズに対応するための制作力の拡充をいたします。

■シリーズ B ラウンド（2 回目の VC 投資ラウンド）で 4.5 億円のファイナンスを実施

フィジ奥斯は、今後の事業拡大に向けてこの度、株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ、大和企業投資株式会社、ニッセイ・キャピタル株式会社、みずほキャピタル株式会社、株式会社東京大学エッジキャピタル(UTEC)のベンチャーキャピタル 5 社より合計 4.5 億円のシリーズ B ファイナンスを実施しました。

■今後の展開

フィジ奥斯は、独自の物理シミュレーション技術と、既存の「PHYZIOS Studio」等で培ったソーシャル UGC プラットフォーム技術を活用して、サービスを展開しております。フィジ奥斯の志してきた「さわって面白い、つくって面白い、みせて面白い」アプリケーションは、今後普及が見込まれるスマートフォンとタッチデバイスと相性が良く、大人から子供までそれぞれの感性を表現できるようなサービスを目指して参ります。加えて、提携・連携先各社との共同展開により、強力なブランドのキャラクターや他社著作権コンテンツとのコラボレーション事業を展開することも視野にいており、同業他社との差別化をいたします。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社フィジ奥斯 email: info*phyzios.com（「*」を「@」に変更してください）

■株式会社フィジ奥斯について

フィジ奥斯は、東京大学で研究・開発された粒子法等の物理シミュレーション技術をエンターテインメント分野に応用し、ゲームを超える、終わりのない創造とインタラクティブな楽しみで、人々の生活を豊かにすることをミッションとしております。これまでに「トミカハイパーレスキューLite（無料総合4位）」、「PHYZIOS Studio（無料総合9位）」、「PHYZIOS Sculptor（無料総合イタリア1位、国内2位）」、「Aqua Forest（有料総合日米1位、株式会社ハドソンとの共同開発）」などをリリースしています。詳しくは <http://www.phyzios.com> をご覧ください。